ロリポップつうしん

布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです

NO. 13

R.3（2021年）３月発行
おもちゃひろばロリポップ

お口の体操

小学部では週に1回、お話の好きな子どもたちが集まり、一緒に活動しながらやりとりを楽しむ**「おはなしクラブ」**を行っています。

そのおはなしクラブで毎回必ずやっているのが**「あいうえおん」**体操です。

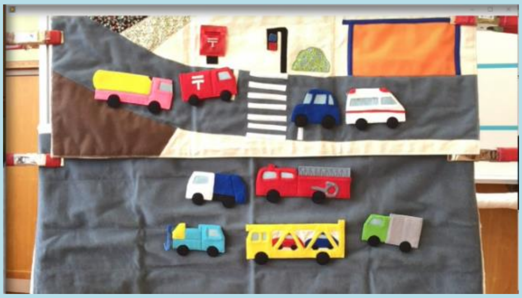
巡回相談で来てくださっているＳＴの先生に教わった体操で、声を出しながら、身体も一緒に動かします。これまでは、教員の口の形をまねながら声を出す練習をしてきましたが、新型コロナウイルスの流行のため、難しくなってしまいました。

ちょうど良いタイミングで、以前からロリポップにお願いしていたお口の体操のハンドパペットが届き、今はそれを使って体操をしています。
「あいうえおん」の口の形をしたかわいい人形で、子どもたちもそれを見て、同じように口を動かして声を出しています。時々自分の手に人形をはめて**「あ～。」**と声を出している子もいます。これからもおはなしクラブに欠かせない布おもちゃです。

白浜養護学校　地域支援担当

保護者専用動画サイトでの活用

新型コロナウィルス感染拡大防止のための休校期間中、ロリポップの布教材を活用して、学校ホームページの保護者サイトから動画を提供しました。著作権等から既製品は使えなかったため、とても助かりました。



子どもたちに人気のある**『はたらくくるま』**の歌の他、**パクパク人形**を使って、学校の各教室巡りやハミガキ指導の動画を製作しました。人形があるおかげで、職員も恥ずかしがることなく、ダイナミックにパフォーマンスすることができました。学校再開後も教室で見て楽しむクラスもありました。

白浜養護学校 地域支援担当

福笑い

　白浜では年明けの授業の中で、多くの学年がお正月の遊びを行っています。たこあげ、こま回し、はねつきは個人や少人数でも楽しめるものですが、クラス全員などの大人数でも楽しめるのはやっぱり**福笑い**です。みんなで遊べる福笑いの制作をロリポップに依頼したところ、お正月に間に合うように作っていただけました。さっそく、毎週行っているおはなしクラブの子どもたちと遊んでみました。おはなしクラブは現在**ぱんだグループ**と**ぞうグループ**の2グループで曜日を分けて活動しています。

　通常は目隠しをする福笑いですが、白浜バージョンでは目が見える状態で顔を作っていきます。子どもたちがどのくらい顔のパーツを意識しているかを確認する機会でもあるので･･･

　始めに教員が各パーツを見せながら、顔のどこの部分かを子どもたちと一緒に確認しました。**「これなあに？」「くち～！」「これは？」「おはな！」**と顔の部分を元気よく答えてくれました。

　ぱんだグループは最初に鼻を上の方に貼りつけました。おもしろがった他の子たちもつられて目やほっぺたを好きなところにペタン！最後に口を貼った子が、みんなが貼ったパーツを顔の中の正しい位置に直そうしましたが、**「かわいいからこのままにしてね。」**と頼んで完成しました。

　ぞうグループは**ぱんだグループ**の作った顔の写真を見て、これよりもうまく作るぞう！と意気込んでいました。最初に口を上の方に貼りつけましたが、その後の子たちがそれに揃えてかわいらしくパーツを配置し**完成！**おすまし顔のお福さんになりました。**ぞうグループ**の子たちは、うまくできた！と喜んでいました。季節感を味わうことができ、ペタンと貼るだけで何通りもの表情になり、みんなで楽しめる素敵な布おもちゃです。

　（でも、眉毛と目の位置はもしかしたら逆なのかな･･･子どもたちは丸い方を目だと思っていました。）

白浜養護学校 地域支援担当

おもちゃ紹介

絵本すいぞくかん

身近なジョイントで
愉しく遊べます

●デザイン●
穂苅 弓

パクパクパペット

口がパクパク、恵方巻もパックリ丸かじり！
丸飲みが出来ます。
カエル君の他に犬君　不思議君　があります。

編集後記

今年度は新型コロナに翻弄され、何気なく送っていた生活がいかに貴重なものかを痛感させられる１年でした。ロリポップの月例会も人数を少なくして行ったり メールでのやり取りに重点を置いたり、と変更を余儀なくされました。そんな中、白浜の地域支援の先生方から白浜でのおもちゃの活用の様子を教えて頂いたり、こあらでの様子を写真付きでメールを頂いたことは停滞しがちな活動に背中を押してもらえることでした。**「ロリポップつうしん」**は紙媒体としてはこの号が最終となります。これからも**おもちゃひろばロリポップ**を宜しくお願いします。（**西村**）